

滋賀県の地震

令和元年(2019年)8月

目次

1 滋賀県の地震活動

(1)震央分布図	-----	1
(2)概況	-----	1
(3)断面図	-----	2
(4)滋賀県で震度1以上を観測した地震の表	-----	3
(5)滋賀県で震度1以上を観測した地震の震度分布図	-----	4

2 琵琶湖西岸断層帯周辺の地震活動

(1)震央分布図・時空間分布図・地震活動経過図	-----	6
(2)概況	-----	6

3 地震一口メモ

緊急地震速報・津波警報の多言語辞書	-----	7
-------------------	-------	---

「滋賀県の地震」は彦根地方気象台における地震業務の一環として、県下の皆様に県内の地震活動状況をお知らせするとともに、防災知識の普及に努め、皆様のお役に立てることを目的とし、毎月刊行しています。

「滋賀県の地震」は上記目次で構成し、適宜地震活動把握のための解説資料や用語解説等を掲載します。

本資料に関する問い合わせは「彦根地方気象台（電話 0749-22-6142）」にお願いします。

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。

また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

滋賀県内の震度情報発表地点は彦根地方気象台ホームページに掲載しています。

<https://www.jma-net.go.jp/hikone/jishin/jishin.html>

本資料の震源要素及び震度データは、後日再調査の上修正されることがあります。

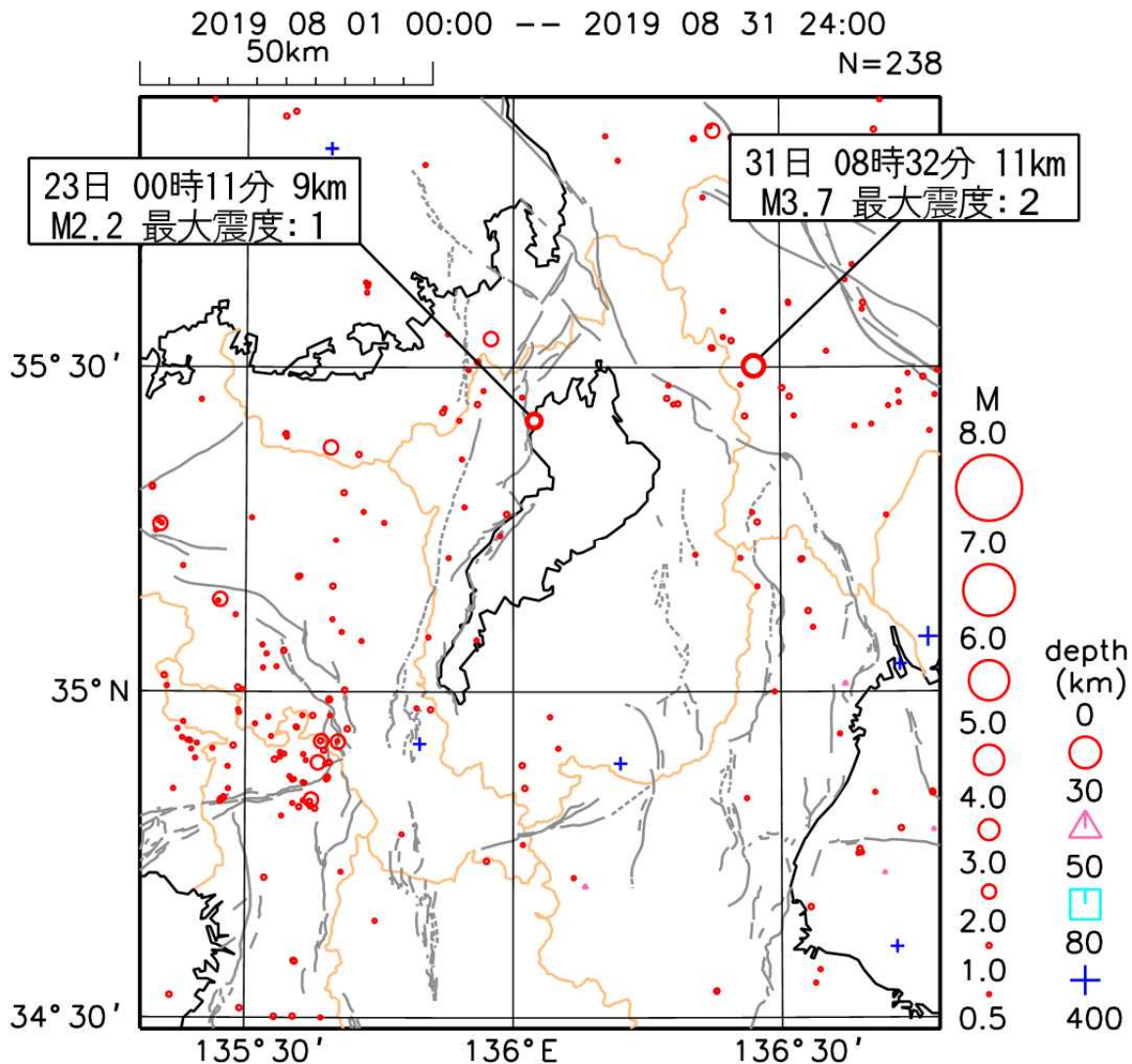
全国の地震火山活動概況、震源要素、震度データは気象庁ホームページに掲載しています。以下のアドレス「地震・津波・火山」からお知りになりたい項目をクリックしてください。

<https://www.jma.go.jp/jma/menu/menureport.html>

彦根地方気象台

1 滋賀県の地震活動(令和元年 8月)

(1) 震央分布図



震央分布図は、地図上に地震の震央を表示したもので、地震の活動を示すものです。
 シンボルマークの位置により「緯度、経度」、大きさにより「地震の規模(マグニチュード)」、形状により「震源の深さ(km)」を表現しています。マグニチュード(M)とシンボルマークの大小、震源の深さ(depth)とシンボルマークの形状の対応は震央分布図の右側の凡例のとおりです。
 図中の折線は、地震調査研究推進本部による主要な断層帯の概略位置です。線種は活断層の存在の確実度(実線部>破線部)を表す。
 滋賀県で震度1以上を観測した地震には、日時・マグニチュード・最大震度を付記しています(最大震度はその地震で観測された最も大きな震度で、滋賀県内の最大震度とは限りません)。
 震央地名は経緯度の格子で区切っているため、県境付近では行政区域の境界と正確に一致しないことがあります。

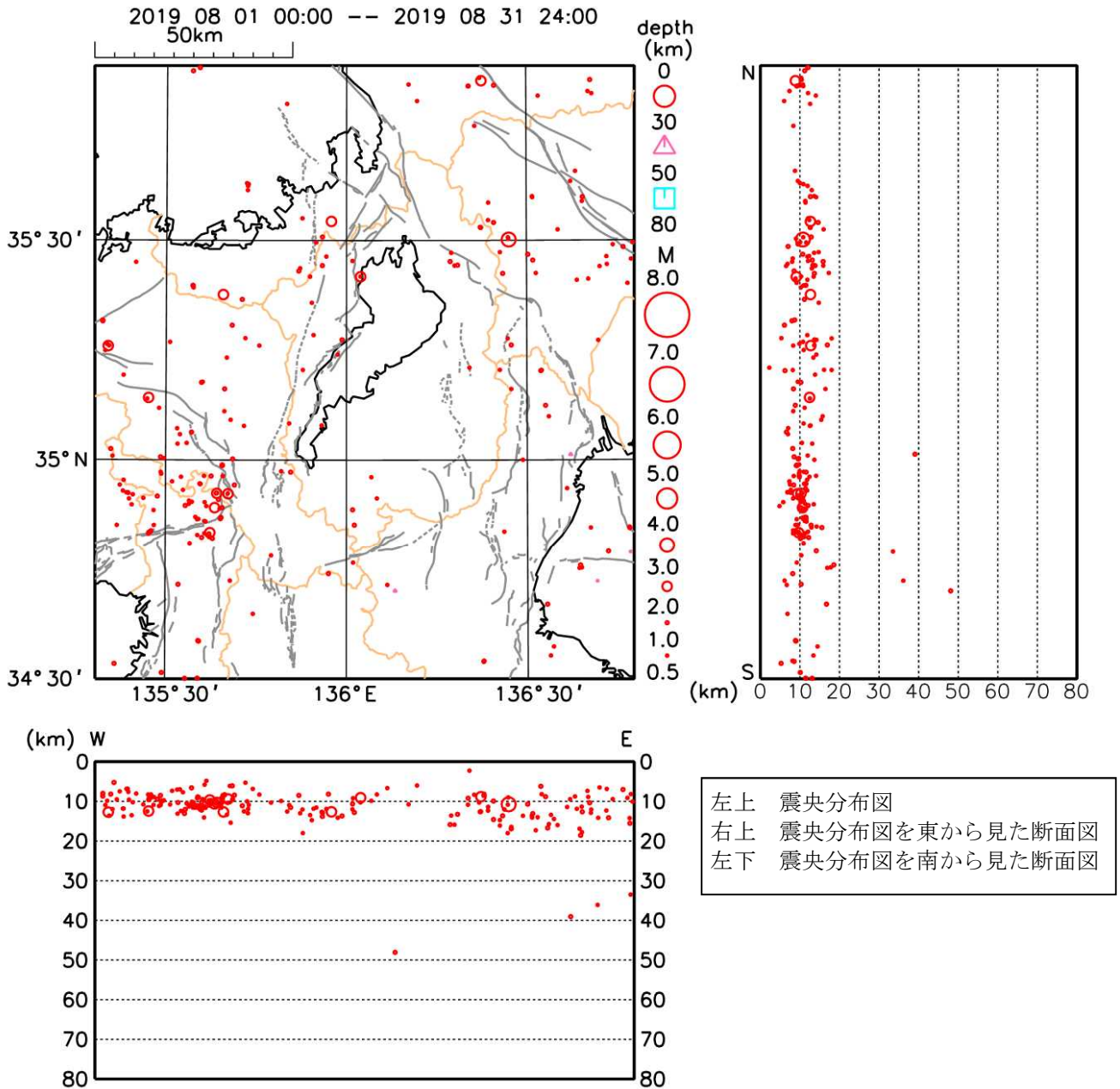
(2) 概況

8月に震央分布図内で震源決定できたM2.0以上の地震は18回(前月10回)でした。滋賀県内で震度1以上の揺れを観測した地震は3回(前月1回)でした。

滋賀県内で震度1以上の揺れを観測した地震は、以下のとおりです。

- 4日 19時 23分 福島県沖(図の範囲外)の地震(M6.4):彦根市、近江八幡市で震度1
- 23日 00時 11分 滋賀県北部の地震(M2.2):高島市で震度1
- 31日 08時 32分 岐阜県美濃中西部の地震(M3.7):長浜市、米原市で震度1

(3) 断面図(深さ 80km までの地震)



【解説】

深さ数 km～約 20km に分布している地震は陸側のプレート内で発生した地震（地殻内地震）、深さ約 30km～約 60km に分布している地震は主として沈み込むフィリピン海プレート内の地震です。

(4) 滋賀県で震度1以上を観測した地震の表

発震日時 各地の震度（滋賀県内のみ掲載）	震央地名	緯度	経度	深さ	マグニチュード
-------------------------	------	----	----	----	---------

2019年08月04日19時23分	福島県沖	37° 42.4' N	141° 37.9' E	45km	M6.4
-------------------	------	-------------	--------------	------	------

----- 地点震度 -----

滋賀県 震度 1：彦根市城町, 近江八幡市桜宮町

2019年08月23日00時11分	滋賀県北部	35° 25.0' N	136° 02.3' E	9km	M2.2
-------------------	-------	-------------	--------------	-----	------

----- 地点震度 -----

滋賀県 震度 1：高島市今津町日置前*

2019年08月31日08時32分	岐阜県美濃中西部	35° 30.1' N	136° 27.0' E	11km	M3.7
-------------------	----------	-------------	--------------	------	------

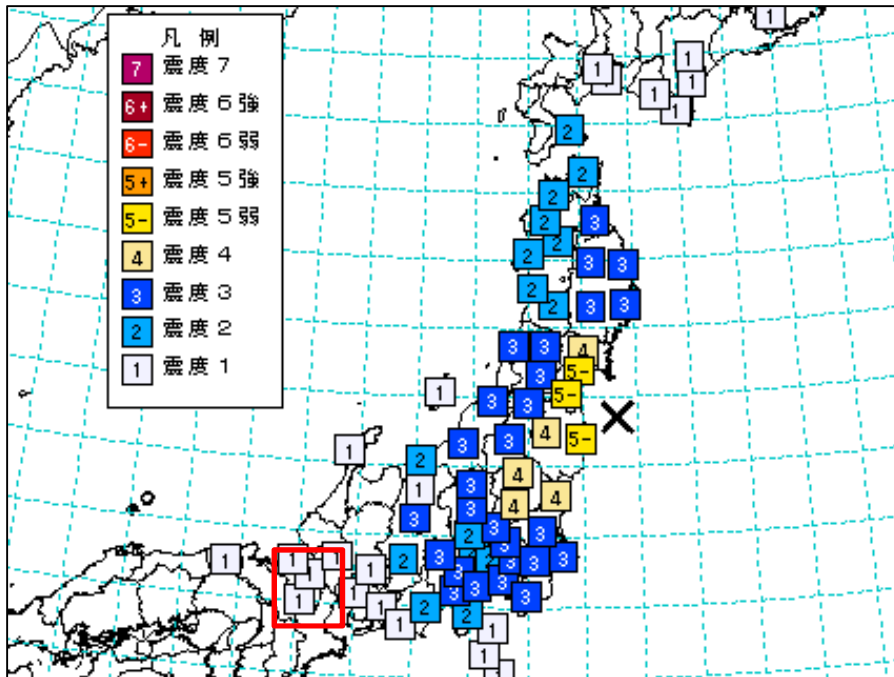
----- 地点震度 -----

滋賀県 震度 1：長浜市高月町渡岸寺*, 長浜市余呉町中之郷*, 米原市春照*, 米原市長岡*

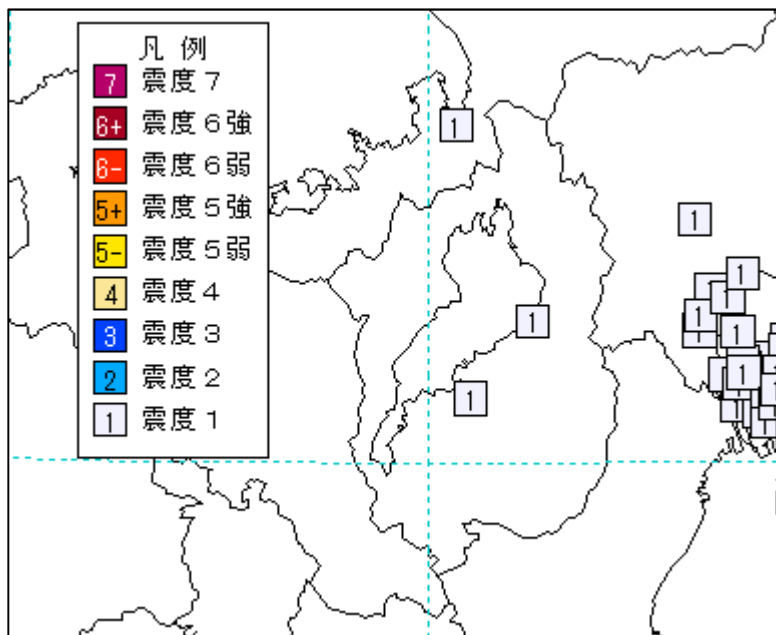
※ **太字**の地点は気象庁の震度観測点、名称の末尾に*がついている地点は、地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

(5) 滋賀県で震度1以上を観測した地震の震度分布図

2019年8月4日19時23分 福島県沖の地震 (M6.4)

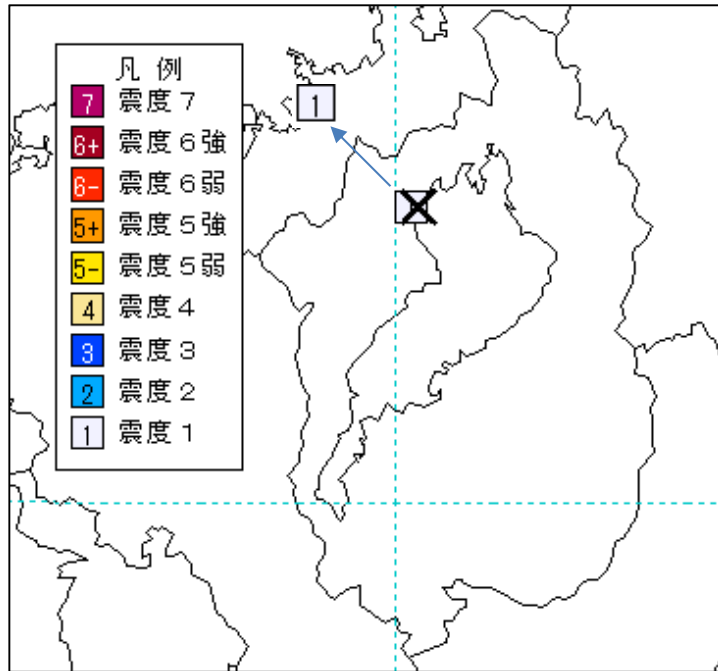


各地域の震度分布図 (×印は震央位置)



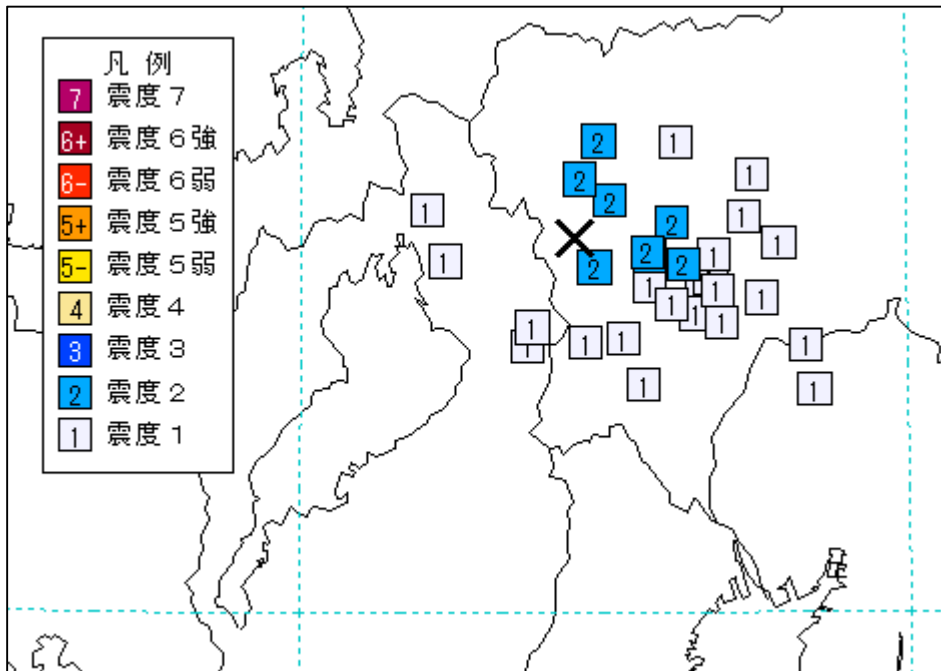
各観測点の震度分布図(各地域の震度分布図中の赤矩形領域内)

2019年8月23日00時11分 滋賀県北部の地震 (M2.2)



各観測点の震度分布図 (×印は震央位置)

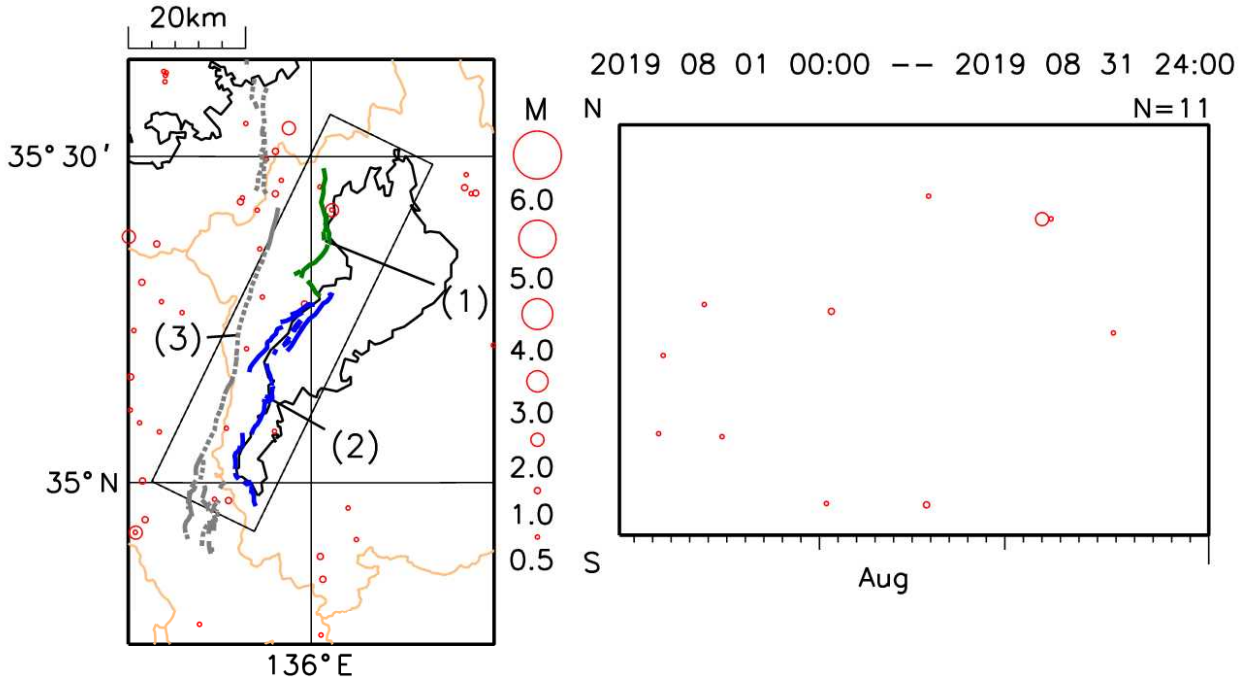
2019年8月31日08時32分 岐阜県美濃中西部の地震 (M3.7)



各観測点の震度分布図 (×印は震央位置)

2 琵琶湖西岸断層帯周辺の地震活動(令和元年 8月)

(1) 震央分布図・時空間分布図・地震活動経過図(深さ 30km までの地震)



(上) 震央分布図

深さ 30km 以内の地震を表示。断層帯に沿った矩形領域内の地震の活動経過を右に表示。

図中の太線は、断層帯の概略位置。線種は活断層の存在の確実度（実線部>破線部）を表す。

- (1) 琵琶湖西岸断層帯北部
- (2) 琵琶湖西岸断層帯南部
- (3) 三方・花折断層帯

(右上) 時空間分布図

震央分布図の矩形領域内の地震を南北の軸（縦軸）に投影し、横軸に日時をとり、それぞれの地震を表示した図。

(右下) 地震活動経過図（規模別）

縦軸にマグニチュード、横軸に日時をとり、それぞれの地震を表示した図。

琵琶湖西岸断層帯について

琵琶湖西岸断層帯は、滋賀県高島市（旧マキノ町）から大津市国分付近に至る断層帯です。全体として長さは約 59km で、北北東-南南西方向に延びており、断層の西側が東側に対して相対的に隆起する逆断層です。

琵琶湖西岸断層帯は、断層帯北部と南部の 2つの区間に分かれて活動すると推定されますが、全体が 1つの区間として活動する可能性もあります。

断層帯北部では M7.1 程度の地震が発生すると推定され、今後 30 年以内にそのような地震が発生する確率は 1~3% と推定されます。

断層帯南部では M7.5 程度の地震が発生すると推定され、今後 30 年以内にそのような地震が発生する確率はほぼ 0% と推定されます。

（地震調査研究推進本部の長期評価（2009）による。ただし、地震発生確率の算定基準日は 2019 年 1 月 1 日。）

(2) 概況

8月に震央分布図中の矩形領域内で観測された M2.0 以上の地震は 1回（前月 0回）で震度 1 以上の揺れを観測した地震は 1回でした。

3 地震一口メモ

緊急地震速報・津波警報の多言語辞書

訪日外国人旅行者は大幅に増加しており、地震多発国である我が国には、地震を経験したことがない方も数多く来日され、在留外国人の中には日本語能力が十分でない方も含まれています。

気象庁は、こうした背景を踏まえ、外国人の地震被害を防止・軽減するため、地震による強い揺れを事前にお知らせする緊急地震速報を情報配信事業者等が多言語で提供する際に必要となる翻訳表現を、内閣府・観光庁の協力を得て作成し、『緊急地震速報の多言語辞書』として、また、地震発生時等に迅速な対応が必要な情報である、津波警報を多言語で提供する際に必要となる翻訳表現を作成し、『緊急地震速報・津波警報の多言語辞書』として、改訂・公表しました。

多言語辞書における翻訳言語は、訪日外国人旅行者及び在留外国人の国籍別割合を踏まえ、英語・中国語・韓国語・ポルトガル語・スペイン語としています。これに加え、国籍を問わず、多くの外国人が災害時において適切な行動がとれるよう、簡易な日本語であれば理解できる外国人向けに「やさしい日本語」への翻訳表現も掲載しています。また、緊急地震速報や津波警報は外国人にとって馴染みがない場合が多いことから、この辞書には、緊急地震速報や津波警報を受け取った際にとるべき対応行動に関する表現も掲載しています。

辞書の表現が広く活用され、外国人の地震・津波被害の防止・軽減に繋がるよう、今後も本辞書の利用拡大に取り組みます。

「緊急地震速報の多言語辞書」英語表現（「緊急地震速報・津波警報の多言語辞書」より抜粋）

ウ. 情報を受け取った際の対応行動

	日本語	英語
基本行動	落ち着いてください	Stay Calm. Do not panic.
	揺れがおさまるまで身を守ってください	Be prepared for strong tremors.
	しっかりと頭を守ってください	Protect your head.
	上から落ちてくるものに気をつけてください	Watch out for falling objects.
	倒れてくるものに気をつけてください	Watch out for falling objects.
	危ない場所から離れてください	Keep away from hazardous areas.
家庭では	頭を保護し、じょうぶな机の下など安全な場所に避難する	Protect your head and shelter under a table.
	大きな家具からは離れる	Stay away from unstable objects such as shelves and cabinets.
	あわてて外へ飛び出さない	Do not rush outside.
	むりに火を消そうとしない	Do not worry about turning off the gas in the kitchen.
	扉を開けて避難路を確保する	If you are near a door, open it to create an escape route.
自動車運転中は	あわててスピードを落とさない ハザードランプを点灯し、ゆっくりと車を停める	Do not slow down suddenly. To reduce the risk of accidents, avoid sudden braking or swerving. Turn on your hazard lights and slow down gently.

詳細は、気象庁HP【<https://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/tagengo/tagengo.html>】をご参照願います。